

九重町DX推進基本計画

令和 6 年 3 月策定

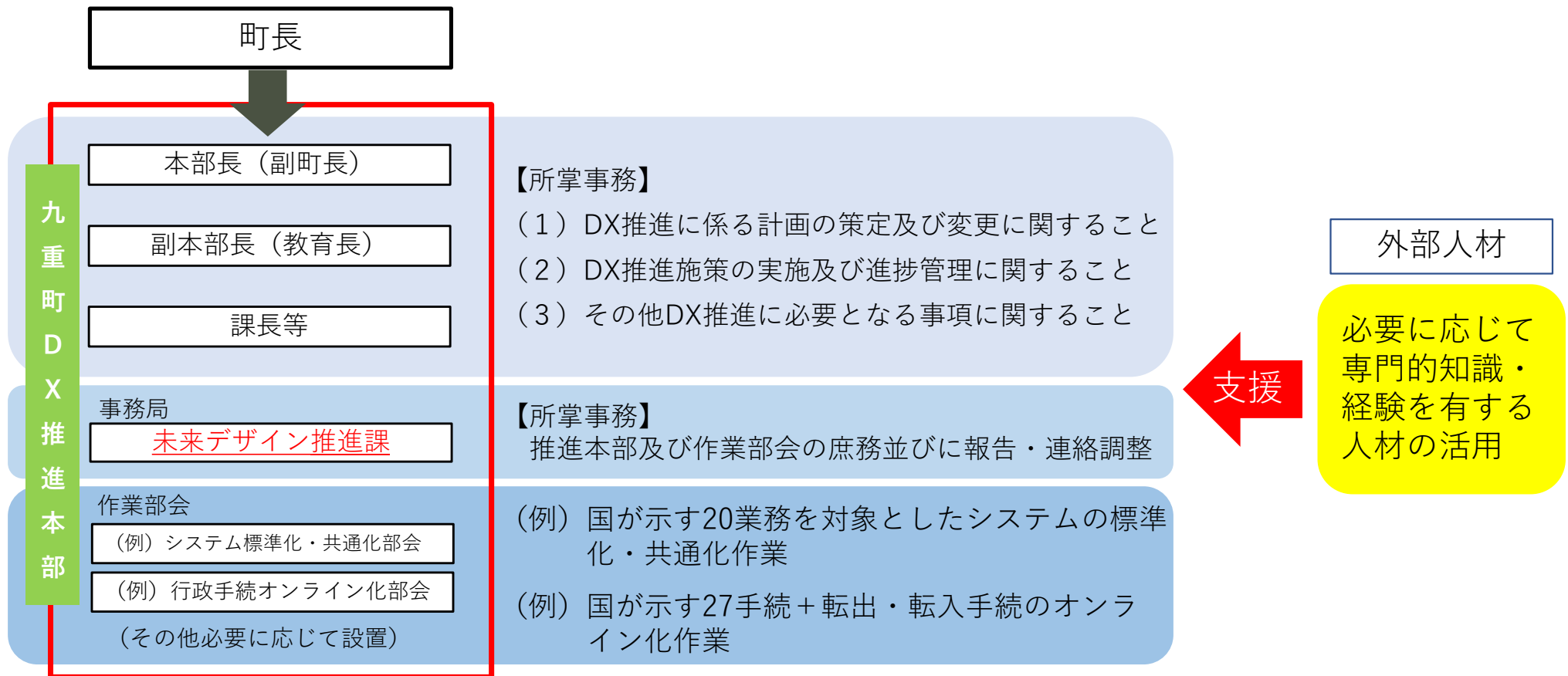
令和 6 年 4 月改定

令和 7 年 4 月改定

九重町

8

推進体制



具体的な取組

重点取組事項

- ①自治体フロントヤード改革の推進
 - ・各自治体の実情に応じた創意工夫で、新しいフロントヤード（住民と自治体の接点）を実現
- ②自治体情報システムの標準化・共通化
 - ・2025年度までに基幹系20業務システムを標準準拠システムへ移行
- ③公金収納におけるeLTAX(eL-QR)の活用
- ④マイナンバーカードの普及促進・利用の推進
- ⑤セキュリティ対策の徹底
- ⑥自治体のAI・RPAの利用促進 ⑦テレワークの推進

自治体DXとあわせて取り組む事項

- ⑧デジタル実装の取組の推進・地域社会のデジタル化
- ⑨デジタルデバйд対策
- ⑩デジタル原則を踏まえた条例等の規制の点検・見直し

必要に応じ実施を検討する取組事項

- ⑪BPRの取組の徹底
- ⑫オープンデータの推進・官民データ活用の推進

具体的な取組

重点取組事項

③ 公金収納におけるeLTAX(eL-QR)の活用

国において、地方公共団体が公金納付にeLTAX（地方税共同機構が運用する地方税ポータルシステム）を活用できるように、地方自治法や地方税法の整備を行う方向で検討が進められています。また、国の取組方針として、税のほか、特に相当量の取扱件数がある国民健康保険料や介護保険料、後期高齢者医療保険料、その他の公金について、eL-QRを活用した納付を行うことができるようにすることが示されており、本町においても、国の動向等踏まえ、公金収納事務の効率化、住民等の公金納付の利便性向上の観点から、eLTAXの活用の取組を進めます。

④ マイナンバーカードの普及促進・利用の推進

マイナンバーカードは、住民がDXを使うためのIDといえるものです。町は、国とともにマイナンバーカードの利活用拡大に向けて、行政手続のオンライン化、マイナンバーカードの普及を積極的に進めていく必要があります。マイナンバーカードのさらなる普及促進に向けて、引き続き休日・夜間・出張申請受付を実施するとともに、カードの利活用促進のための取組を進めます。

※令和7年3月末時点のマイナンバーカードの保有率 九重町 79.00%

具体的な取組

自治体DXとあわせて取り組む事項

⑧ デジタル実装の取組の推進・地域社会のデジタル化

デジタル田園都市国家構想では、「産官学の連携の下、仕事・交通・教育・医療をはじめとする地方が抱える課題をデジタル実装を通じて解決し、誰一人取り残されず、すべての人がデジタル化のメリットを享受できる心豊かな暮らしの実現した持続可能な経済社会」を目指しています。

本町においても「どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」の実現に向けて、防災や交通、産業などの様々な分野において、デジタル技術の活用を進めていきます。

⑨ デジタルデバイド（情報格差）対策

ICTの進歩が著しい中、情報格差による孤立、詐欺や事件被害の高度化、人材の流出など、デジタルデバイド対策への取組が必要になっています。特に高齢者については身近な場所で身近な人から学ぶことができる環境づくりが求められています。そのため、デジタル技術が不慣れな方や利用に不安を抱える方が身近な場所で相談・学習できるよう、国や県、民間事業者などと連携した支援により、「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」の実現に向け取り組みます。

■用語の解説

用語	解説
A I (エーアイ)	Artificial Intelligenceの略。人間的につくられた知能を持つコンピュータシステムやソフトウェア（人工知能）のこと。機械であるコンピュータ自身が学び従来人間にしかできなかったような高度に知的な作業や判断を行うことができる。
B P R (ビーピーアール)	Business Process Re-Engineeringの略。業務本来の目的に向かって既存の組織や制度を抜本的に見直し、プロセスの視点で、職務、業務フロー、管理機構、情報システムをデザインし直すこと。
e L T A X (エルタックス)	地方税ポータルシステムの呼称で、地方税における手続きをインターネットを利用して電子的に行うシステム。eLTAXは、electronic（電子）、Local（地方）、TAX（税）からなる造語。
<u>eL-QR(エル キューアール)</u>	<u>eLTAXで使用する2次元バーコード。eLTAX内の特設サイトやスマートフォン決済アプリを通じたキャッシュレス納付が可能となるほか、eL-QR対応金融機関であれば全国どの窓口でも納付が可能となる。</u>